

2014 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の間に 当科において腎生検を受けられ IgA 腎症と診断された方 及びご家族の方へ

—「IgA 腎症の治療実態」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 教授 長洲 一
研究分担者 川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 臨床助教 井上夏実
川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 臨床助教 平野 憲
川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 臨床助教 立川 理絵
川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 大学院生 仙田 寛武

1. 研究の概要

川崎医科大学附属病院では、過去に腎生検を受けて IgA 腎症と診断された患者さんの診療記録を用いて、IgA 腎症の実際の経過を調べる研究を行っています。

IgA 腎症では、現在の治療で十分に効果が得られない場合があり、実際の診療でどのような経過をたどっているのか、どのような治療上の課題があるのかは十分に分かっていません。

この研究では、患者さんの治療内容や腎臓の状態の変化を解析し、IgA 腎症の診療で改善すべき点を明らかにし、今後の治療の向上につなげることを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2014 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院腎臓内科において腎生検を受けられ、IgA 腎症と診断された方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において腎生検を受けられ IgA 腎症と診断された方を対象に、研究者が診療情報をもとに各種検査結果、H-Grade、治療方法、使用薬剤のデータを選び、患者さんの治療内容や腎臓の状態の変化を解析し、IgA 腎症の診療で改善すべき点を調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、治療歴、検査実施日時、傷病名（疑い病名を含む）、検査値、処方情報 等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学腎臓・高血圧内科学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026年12月1日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 教授 長洲 一

電話：086-462-1111 内線 27511（平日：9時～17時）

ファックス：086-464-1039

E-mail：jin@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。